

ただそれすらも儚い日々



2002 SUMMER VISTA



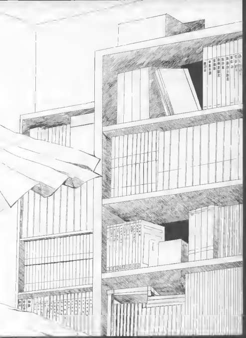
今日和　又は初めまして　オタクラハコネと申します。水月本を手にとって頂いてありがとうございます。やっと出せました。今回はいつにも増して好き勝手に描きました。スミマセン。あ　マヨイガに行ってからの透矢×雪さん　として読んで頂ければと思います。世の中ではけっこう賛否両論な「水月（みつきじゃないぞよ？）」ですが　私はとてもこのゲームが好きだったりします。「物語を読ませる」事に関してはけっこう投げっぱなしな印象もありますが　それすらも好きだと思える位。今まで色んなもの　本　漫画　コンシューマーゲーム　PCゲームを見てきましたが　文を読んでて「ああ　日本語ってキレイだったんだなぁ」って思わされたものは初めてでした。続いて　もとい　決して世の中で言われる「もうしゲー」「ロリゲー」ではないのですよ！！　と熱く語ってみたり。といいつつ雪さんハァハァ。ひたすらハァハァです。大人かつ子供　理知的かつインラン　神秘的かつ家庭的　もういたせりつくせりです。とか言ってたらリアルで雪が降ってきました。ハァハァ。

そんな感じで（？）初めてのマトモな水月本　愛をこめて描きましたので　読んで頂けると嬉しいです。俺も月でお。

オタクラハコネ


チチ
チチチ
雨ヨさん
ー
どうして
そんな悲しそうな
顔してるの?
そうだ

も　僕　い　日　々






『彼女』は僕の作り出した―
―矢さん
透矢さん
透矢さん
起きて下さい


すみません
透矢さんが 余りに気持ち良さそうで。
変なの
なんで気持ち良さそうだったら起こすの？雪さんは
―二度と
目を覚まされないような気がして―――


ザァ…ッ
また向こうの世界の夢を見てらしたんですか？
ああ
だんだん向こうの時間が長くなってきてる


あの家の
あの部屋の
あの布団で
目覚めて
雪さんが
いなかった
雪さん
雪さんはずっと
僕の側に
いてくれるよね?
ハイ
雪はずっと
透矢さんの
側にいます


ずっと
ずっと
側にいます
だって
雪の
居場所は
もうここ以外
どこにも
ありませんから
『並行世界?』


『何それ？』
『きっと』
『私達のいる世界はたくさんの世界のうちの一つなのですわ』
『目の前の世界がすべてとは限らない…』
『そのいくつかの世界はたまに交わりながらずっと続いていく…』
『素敵だと思いません透矢さん？』
彼女のあの言葉を
あの時の僕はまだ理解できなかった
ナナミさん見つけたよ僕の居場所を
大切な人とずっと二人でいられるそんな世界を
でも


ぷっ
雪さん
もっ 入れて いいかな
はい


く…ふ…
あ・あっ
ずぬ
ぬ
…ア…!
ぬ…
…は…は…
いっぱい
びくん
あ…!


ん…
ズッ
あっ
アッあ…あ
ズッ
ズッ
あっ
ガッ
んぷっ
ん――…!
あっ
ガッ
透矢さま…
ガッ
あっ


ぱんっ
あ…っ
ひぁっ！
ぱんっ
ぱんっ
あ…あっ
ぱんっ
透矢さん
雪
もぅ
イってしまいます…
びくん！
―――!!
雪さん
きっと
すべての世界が
存在しつづけるとは
限らない


一緒に…ッ！
は
びぁあああああ…ッ！
くんっ
はぁう
はっ
どくっ
どくん
熱っ
どくっ


気持ち良かったです
溶けちゃうかと思いました
駄目だよ
溶ける時は二人で——
なおさら
こんなにも弱くて小さな
僕が作り出した
幻

THANK YOU FOR YOUR READING!



2002・12・30・ VISTA@ HAKONE ODAWARA PRESENTS・